



平成 24 年 11 月 5 日

各 位

会 社 名 J Xホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 松下 功夫
 コード番号 5 0 2 0 東・大・名証第 1 部
 問合せ先 財務 I R 部 I R グループ マネージャー
 山本 真義
 (電話番号 03-6275-5009)

**平成 25 年 3 月期 第 2 四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異
 及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ**

平成 24 年 8 月 3 日に公表した平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想数値と本日公表の実績値において差異が生じたのでお知らせいたします。

また、最近の業績の動向を踏まえ、平成 24 年 8 月 3 日に公表した平成 25 年 3 月期通期連結業績予想についても、修正しましたのでお知らせいたします。

記

**1. 平成 25 年 3 月期 第 2 四半期累計期間の連結業績予想数値と実績値との差異
 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)**

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成 24 年 8 月 3 日発表)	5,050,000	5,000	40,000	5,000	2 円 01 銭
実 績 (B)	5,189,137	37,401	79,618	26,842	10 円 79 銭
増 減 額 (B - A)	139,137	32,401	39,618	21,842	8 円 78 銭
増 減 率	2.8%	648.0%	99.0%	436.8%	436.8%
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 24 年 3 月期第 2 四半期)	5,079,597	195,250	238,680	126,710	50 円 95 銭

2. 平成 25 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 24 年 8 月 3 日発表)	10,400,000	150,000	220,000	100,000	40 円 21 銭
今回修正予想(B)	11,110,000	210,000	290,000	140,000	56 円 30 銭
増 減 額 (B - A)	710,000	60,000	70,000	40,000	16 円 9 銭
増 減 率	6.8%	40.0%	31.8%	40.0%	40.0%
(ご参考)前期実績 (平成 24 年 3 月期)	10,723,889	327,844	407,765	170,595	68 円 60 銭

3. 第2四半期累計期間の連結業績予想数値と実績値との差異及び通期連結業績予想修正の理由

(第2四半期連結累計期間の連結業績予想数値と実績値との差異の理由)

第2四半期連結累計期間においては、原油価格上昇等により、売上高は前回予想（平成24年8月3日発表）を上回る結果となりました。また、営業利益・経常利益・四半期純利益につきましても、原油代の上昇に伴い在庫影響が改善したこと、石油製品のマージンが改善したことなどにより、予想損益を上回る結果となりました。

〔在庫影響（※）〕（第2四半期連結累計期間）		（単位：億円）	
	前回発表予想 (A)	実績 (B)	増減額 (B - A)
在庫影響	△600	△460	140
在庫影響を除いた 営業利益相当額	650	834	184
在庫影響を除いた 経常利益相当額	1,000	1,256	256

※総平均法によるたな卸資産の評価が売上原価に与える影響

(通期連結業績予想修正の理由)

売上高は、原油価格の上昇により、対前回予想（平成24年8月3日発表）比6.8%増の11兆1,100億円となる見通しです。

原油代の上昇に伴う在庫影響の改善により、営業利益は対前回予想比600億円増益の2,100億円、経常利益は対前回予想比700億円増益の2,900億円となる見込みです。

なお、在庫影響を除いた経常利益相当額は、水島製油所B工場稼働停止などの減益要因はあるものの、原油価格上昇によって開発事業の増益が見込まれること、営業外損益の良化などによって、前回と同額の3,000億円となる見通しです。

〔在庫影響（※）〕（通期）		（単位：億円）	
	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B - A)
在庫影響	△800	△100	700
在庫影響を除いた 営業利益相当額	2,300	2,200	△100
在庫影響を除いた 経常利益相当額	3,000	3,000	-

※総平均法によるたな卸資産の評価が売上原価に与える影響

本見通しは、通期平均で原油価格（ドバイ原油）；バーレル当たり108ドル（下期110ドル）、銅の国際価格（LME価格）；ポンド当たり357セント（下期360セント）、円の対米ドル相場；80円（下期80円）を前提としております。（前回予想：原油価格；バーレル当たり102ドル、銅の国際価格；ポンド当たり352セント、円の対米ドル相場；80円）

(注) 本資料には、将来見通しに関する記述が含まれていますが、実際の結果は、様々な要因により、これらの記述と大きく異なる可能性があります。かかる要因としては、(1) マクロ経済の状況又はエネルギー・資源・素材業界における競争環境の変化、(2) 法律の改正や規制の強化、(3) 訴訟等のリスクなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

以 上